シカの場合は、木や草花を守るために柵を設けたり、木の皮を食べられないため木にシートを巻いたりしてるんだ。

シカやクマだけではなく、他にもたくさんの生きものがいて、ぼくたちと色々なつながりを持っています。ここでは紹介しきれないけど、もっと知りたくなったら生物多様性まつりに遊びに来てね！

生物多様性まつりのご案内は次のページ

生物多様性まつり 2014

8/3（日）9:00-17:00
（参加無料・雨天決行）

うちっちといきもん
～生きものたちと上手につきあうには？～

太点線を切ろう

環境省　生物多様性センター

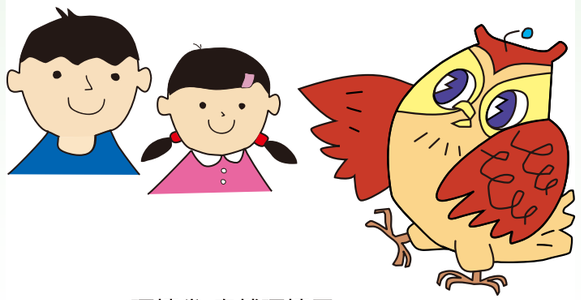
入館無料！ いろいろな展示もあるよ☆

場　所：富士吉田市上吉田剣丸尾５５９７－１
開館時間：9:00 ～ 17:00
休館日：年末年始
　　12月～４月の土日祝日
電　話：0555-72-6031
ホームページ：http://www.biodic.go.jp/
キッズコーナー：http://www.biodic.go.jp/kids/

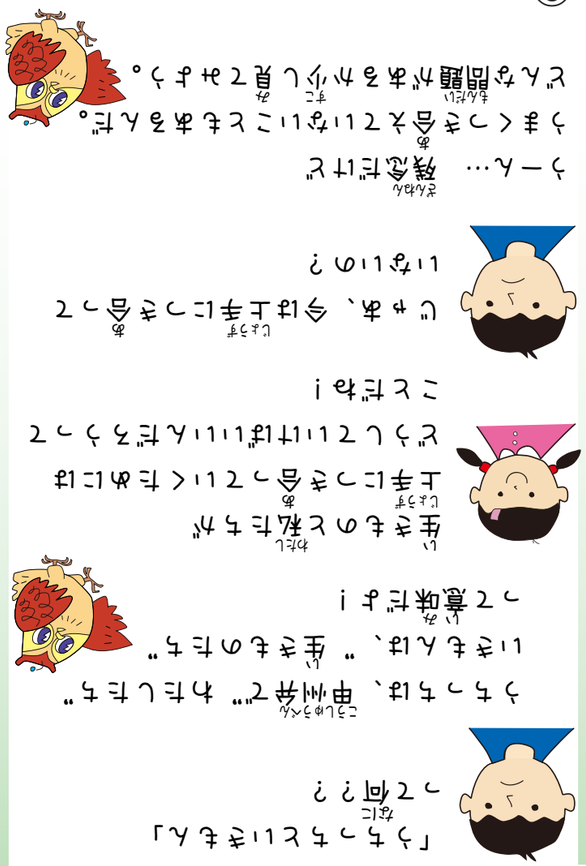
くわしくはこちら

博物館を利用した
夏休み自由研究プロジェクト

うちっちといきもん
～生きものたちと上手につきあうには？～



環境省 自然環境局
生物多様性センター
Biodiversity Center of Japan



「うちっちといきもん」って何？

うちっちは、甲州弁で"わたしたち"いきもんは、"生きものたち"って意味だよ！

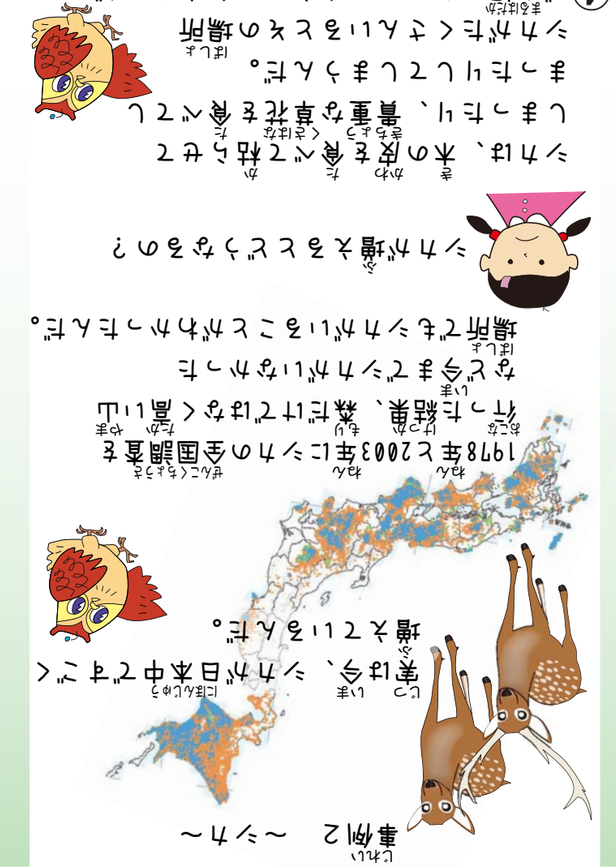
生きものと私たちが上手につき合っていくためにはどうしていけばいいんだろうってことだね！

じゃあ、今は上手につき合っていないの？

うーん… 残念だけど きんねん

うまくつき合えていないこともあるんだ。

どんな問題があるかゴ見てみよう。



事例1　～クマ～

森や山、場所によっては町でクマとムが偶然出会うこともある ふだん

おどろいたクマは時に人を傷つけてしまうこともあるんだ。

とき きず

下のグラフは1980年から2006年までに人の数だよ。

ねん ねん

すごく増えているのがわかるね。

環境省クマ類出没対応マニュアル　資料編より作成

事例2　～シカ～

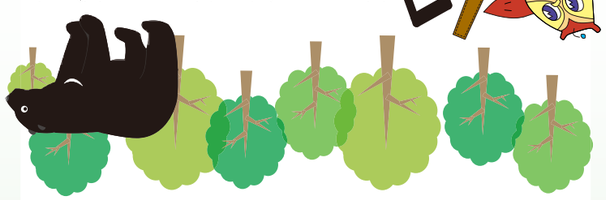
実は今、シカが日本中ですごく増えているんだ。

1978年と2003年にシカの全国調査を行った結果、森だけではなく高いやまにもシカが住むようになってきたんだ。

シカもクマもぼくたちと上手につき合えないのかな。

むずかしい問題なんだ。

でも少しだけ生きものの事を考えてみるとうまくつき合えるかもしれないよ。



例えば、森や山でくまを持ってるとクマが人に気づいて逃げていくんだ。